金沢市立鳴和中学校　学校だより
いらか
令和8年度　第11号
発行日：令和8年10月30日
発行責任者：校長　鶴見隆之輔

努力すること

「天才は１％のひらめきと９９％の努力でつくられる」と、トーマス・エジソンは言っています。
また、おもに、真剣な努力は形を変えて必ず自分の力になるという意味で、「努力は裏切らない」という言葉が使われます。他にも、頑張れば目標が達成できるという意味で、「努力は報われる」という言葉も使われます。
「才能」を辞書で調べると、「生まれながらにして持っている、物事をうまくやり遂げるための頭の働きや能力」という意味が見られます。これは、一見すると特定の人だけのもののように思ってしまうかもしれませんが、そうではないと思います。私たち１人１人は、生まれながらに必ず能力を持っています。ただし、どんな能力を持っているかは誰もわかりません。いろいろなことを体験して、それをやり続けてはじめて自分の能力に気付くのです。そして、努力をすることで、結果として「才能」として特定の能力を身に付けていくのではないでしょうか。
「努力は報われない」という見方を主張する人もいますが、世界で活躍している人々やこれまで偉業を成し遂げた人々で努力を怠った人はいないのではないでしょうか。この人々の成功は、努力をし続けていることで、その結果として生じたものであり、皆、「努力すること」の大切さを言葉にしています。
他人と比べたり、競ったりすることで、「自分には才能がない」「やっても無駄」と思ってしまいますが、そうではなく、以前の自分自身と比べたり、競ったりするために努力すると、「昨日よりできた」「これもわかった」と前進できるのではないでしょうか。
「努力すること」の質や量は、１人１人違います。誰かに憧れたり、誰かを目標にしたりすることも必要ですが、他人を気にしたり、他人に合わせたりするのではなく、自分のペースで、自分ができることをやり続ければいいのです。

私たちが生まれながらに持っている才能があるとすれば、すべての人が必ず持っているもので、誰もがその能力を発揮できる唯一の才能は、「努力すること」ではないでしょうか。

＜第2回学校運営協議会から＞

１０月６日（火）、第２回学校運営協議会において、前期学校評価や地域学校協働活動について説明、また協議会前に授業を参観していただき、ご意見をいただきました。委員の皆様から、グループやペア活動などの様子や話を聞く態度など、生徒の様子を概ね良好であると褒めていただきました。また、学校評価での課題から地域連携の在り方や保護者と協力した家庭教育の充実に取り組むこと、ネットトラブルやいじめなどの問題に対する生徒の安全・安心確保に取り組むことの要望がありました。
学校では、ご意見を参考に、生徒の充実した学校生活に取り組んでいきたいと考えております。

＜お知らせ＞

【三者懇談（3年生）、通知表渡し（1、2年生）について】
２学期の通知表渡しを１２月１５日（火）～１７日（木）の３日間に設定しております。（３日間とも、１３：３０～１６：３０の時間帯に全学年実施）
特に３年生は、進路についてとても大事な懇談となります。生徒たちの現状を把握し、今後の成長につないでいただければ幸いです。